

平成19年8月2日発

発達障害～当事者として、親として

猪名川町特別支援教育公開講座を開催



7月31日（火曜日）、文化体育館小ホールで「特別支援教育公開講座」（主催：教育委員会）を開催し、町内外から、学校園の教職員や保護者など約120人が参加しました。

この講座は、①発達障がいや特別支援教育への理解を深めること、②学校や地域で子どもたち一人一人に応じた支援ができるようになること、この2つをねらいとして開かれたものです。



今回は、兵庫県LD親の会「たつの子」の笹森理絵さんを講師として「発達障害～当事者として、親として」と題しての講演が行われました。

笹森さんは、幼い頃から集団の中での行動が苦手で叱られることが多く、学校に入ってから、国語や社会はいい点数が取れるのに、算数・数学はいくら頑張ってもできなかったということです。

32歳のときに、LD、ADHDであり、アスペルガー症候群の傾向もあるという診断を受けられました。そのときの「できないのは自分のせいではない。脳の構造の問題や。」という医師の言葉を契機に、自分を責めるのではなく認めることができるようになり、現在では、NHK教育TVの「ハートをつなごう」に出演、また講演活動もされています。

幼稚園のときから現在に至るまでの体験や、本人にしかわからない感覚の特徴などを、具体的に話されました。

参加者は、明るく話される姿に希望を感じることができ、また、2人の小学生を育てる母親としての話にも心を動かされたようでした。

参加者からは、「自分の子どもは、本人がどんなことで困っているか言えないので、具体的な話が聞けてよかった。」「気づかないことで、どれだけつらい思いをされたか。周りの対応の大切さを実感した。」「どの子どもも大切な子。今、接している子どもたちの特性をしっかりと見つめ直して対応していきたい。」などの声が寄せられました。

特別支援教育についてのお問い合わせは、教育支援室（電話072-766-6006）へ。

